

おかさきこども園 2020(令和2年)度事業計画

1. 湖西市(人口5万9千)は、2021年から保育園の待機児童はゼロになる見込みとしています。(3月4日本会議)新居、岡崎幼稚園がこども園になり、新居(保育部119人)岡崎(保育部93人)2020年4月には新設こども園(100人)の受け入れも始まります。一方、公立新居、内山保育園が閉園となる予定です。湖西市の入園希望数は234人、昨年は212人でしたので、無償化等の影響もあるのか若干増加が見られました。当園の2020年度4月の入園希望数は56人と多く、地元学区の人口増加や放課後児童クラブ併用といった特徴が希望者増の一因と推測されます。このような市の状況、ニーズを把握し、より多くの子供たちが入園できるように努めていきたいと思えます。

おかさきこども園は、4月新入園児16人(1号認定2人 2・3号認定14人)子どもの人数は以下通りです。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
進級児		13	20	25	25	28	111
新入園児	<7>	<4>	<2>	<1>			<14>
1号認定				<2>	3	1	6<2>
	7	17	22	28	28	29	131

2. 人材確保は、困難な状況が続いています。新卒者5名の募集をしましたが、2名採用に止まりました。退職人数は、正規職員2名、パート職員1名、市野与進への施設間異動職員1名、正規から非常勤に変更する者1名です。保育教諭の配置人数はギリギリのため、今後の入園数に影響を及ぼすことを考え、引き続き中途採用も含め人材確保のための、努力をしていかなければならないと思えます。

R2	園長	主幹	副主幹	保育教諭	保育士	給食	事務・用務	学童	小計	合計
正規	1	2	2	13		3	1	1	23	44
非・パート				8	2	3	2	6	21	

【今年度のテーマ】 「みんなが育つ職場づくり」

新人もベテランも働きやすい職場環境づくりを工夫し、職員間のコミュニケーションを大切にすることで、子どもへの関わり方や保護者支援につなげていくようにする。

また職員一人ひとりの課題を明確にして、人材育成と保育の質の向上に取り組んでいく。

【重点目標及び重点施策への取り組み】

①一人ひとりに向き合う関わりを大切にす保育（育児担当制）

各年齢にあった子どもの主体性を育む。(子どもの育ちを支える保育実践と環境設定)

年齢に応じた発達のために、学びと遊びを通じて豊かな経験をする。(10の姿に結びつけて考える。)

これらについて、自己評価により保育の振り返り課題を見つけ保育に活かす。

②働きやすい環境づくり（コミュニケーションの時間を多く取る）

中堅、リーダーの役割を明確にする。係の仕事を整理する。書類記録、休憩の取り方を改善する。

新人支援と研修の継続。

法人内外の研修(キャリアアップ研修含む)への参加を計画的に行う。園内研修の充実を図る。

③家庭支援と安全環境づくり（地域に根ざした園になるための取り組み）

子育て支援。ふれあい広場・子ども食堂の継続。保護者との信頼関係を深め、相談しやすい環境作りをする。子どもの安全について再点検し、園内環境の見直しをする。情報発信をわかりやすくする。

法人の事業骨子	法人の重点的な計画	園の重点目標	具体的な内容
1 教育・保育サービスの質の向上	<p>○認定こども園教育要領・施設に沿った保育・教育の実践に努める</p> <p>○行政に向けたタイムリーな情報発信</p> <p>○環境変化に応じた園の経営</p> <p>○保護者への積極的な子育て支援</p> <p>○保育環境の整備</p> <p>○環境を守る取り組み</p>	<p>① 一人ひとりに向き合う関わりを大切にする保育</p>	<p>【園の理念】</p> <p>『こどもの育ちを支える保育』</p> <p>【園の保育教育目標】</p> <p>『笑顔で楽しく元気で健康な子ども』</p> <p>『ともだちと仲よくあそぶ子ども』</p> <p>『感じたり考えたり工夫したりしてやりぬく子ども』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな保育の実践 育児担当制の勉強会を行う。 ・自己評価から課題を見つけグループワークを通じて共有する。 ・人との関わりを大切に子どもの興味や行動・発見に共感する ・エピソードから子どもの行動、気持ちを読み取る。 ・記録につなげる。(書式の見直し検討) ・認定心理師による療育相談の継続と保護者の援助方法につなげる。 ・職員会議 伝達 市の状況や隣接地域のニーズ等について ・幼児会議、乳児会議で環境設定の確認共有意識 ・中長期計画の設定 ・保護者アンケートから課題の解決 ・お誕生会の保育参加 ふれあい遊びへの参加 休日保育事業 ・保護者に一人ひと言 相談しやすい環境作り 個人面談の継続 ・芝生管理 芝生の草取り肥料 ・7年目今後の修繕改修・積み立て等の計画を立てる ・節電 ・保育材料の再利用 広告使用等
2 職員の確保・育成	<p>○職員の働きやすい環境づくり 接遇の改善</p> <p>○計画的な研修</p> <p>○採用関係等対外的にタイムリーな情報発信</p>	<p>② コミュニケーションを多く取る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の園内研修の実施 ・少人数での意見交換 会議の簡素化工夫 ・早めの勤務表作り 休みの希望 有給確保 ・新人支援研修の継続 ・自己評価からの振り返り ・働き方改革の継続 ・ノンCONTACT、休憩の仕方の取り方検討 ・時間外、持ち帰りの仕事について考える ・松溪会 初任者研修 中堅研修の実施 ・キャリアアップ研修 個人研修計画 園外研修報告 ・人材確保 合同就職説明会の活用 ・実習生、ボランティア 職業体験 積極的な受け入れ ・丁寧な園見学説明 ホームページの充実
			<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホーム交流 自治会交流いきいきサロン

<p>3 地域への貢献</p>	<p>○「地域における公的な取組」を含む 地域貢献活動の充実</p> <p>* 災害時乳幼児と保護者への支援 の在り方を検討する</p> <p>○地域に対するタイムリーな 情報発信</p> <p>○社会の一員としてSDGsを意識した活 動を行う</p>	<p>③ 家庭支援と安全 環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ぴよぴよクラブの継続 ・おひさま広場 こども食堂の継続 ・給食参加 保育参加 ・一時預かり事業 育児相談 ・専門性を活かした栄養士の食事相談 離乳食教室 ・園の特性を活かした災害マニュアルの見直し ・地域防災の状況把握と避難場所の確認 ・近隣の「小学校・幼稚園・こども園・保育園」と継続的交流 ・ホームページ こどもブログの発信 ・課外活動 畑収穫体験 ・園として人としてSDGs何ができるか勉強会
<p>4 法人事業基盤の強化</p>	<p>○経営状況の把握と無駄の排除</p> <p>○生産性の向上のための積極的な ICTの活用</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・予算管理 現状把握と計画的な備品購入 ・修繕計画 ・キッズリーの活用 ・予算と照らし合わせ午睡チェック等職員の仕事の 効率化を図るものを検討していく。

<クラス編成と職員数>

	0歳児	1歳児		2歳児		3歳児	4歳児	5歳児	一時	
	こもも組	いちご組	ぶどう組	らいおん組	きりん組	赤	青	白		
園児数	7	9	8	11	11	28	28	29		131
職員数	3	2	2	2	2	3	2	2		18